

昨年に引き続きホストファミリーをさせて頂きました。

2回目と言うこともあり、準備の段階から Email で Charles さんとやり取りをするなど、少しお互いを知った状態で受け入れる事が出来ました。歴史や日本独自のものに興味が有るとの事だったので、初日に岡崎城に寄ってから自宅に向かい、次の日は朝から郡上八幡に行きました。とても暑い中ではありましたが、飛騨牛ほうば味噌焼きなどの郷土料理と郡上八幡城、水路が巡る古い町並み、郡上おどりの実演などを案内できました。独自の文化や風習を説明するのは少し難しかったですが、私と同世代の方でしたので、ゆっくりと街を歩きながら時々足を止めて、私の英語に耳を傾けて下さいました。

夕飯は息子が「IN AND OUT に負けないくらい MOS BURGER も美味しいのを伝えたい」と言うことで、MOS BURGER に行きました。

とても美味しいと言ってくれて、特にオニオンリングを気に入っていました。エビバーガーも気に入ったようです。その後安城七夕祭を歩いて通り抜け、雰囲気味わってもらい帰路につきました。

息子は昨年、N.B.に青年訪問団として行かせて頂いた経験のおかげなのか、最初から躊躇なくチャールズさんと話す様子にとっても驚きました。

昨年訪問前に高校生のチャーリーくんを受け入れた際は緊張や自信の無さからか、あまり会話を楽しめて無かった様子でしたが、訪問先で大分話せる様になってきて、今回 1 年ぶりでも上手くコミュニケーションをとる様子が見られ、近くで息子の成長を感じました。

チャールズさんが高校の先生ということもあり、チャーリーくんを始め、昨年訪問された生徒さんの事を良く知っていて、共通の話題もあったのも話しやすかったのかもしれませんが。

次の日は八丁味噌の郷で工場見学をし、八丁味噌ソフトを楽しみました。

夜の花火に備え、お昼は自宅でお好み焼きを食べ、3 時間ほど部屋でゆっくりしてもらいました。その間に息子が AEON の屋上の場所取りなどに動いてくれてとても助かりました。

見送りの際には、他の生徒さんとも少し話せて、皆さんそれぞれとてもいい時間を過ごした充実感が伝わってきました。もう少し他の生徒さんとも話してみたかったです。

昨年とは違い夏休み期間の受入れだったのでセントレアまで見送りにもしました。今回 82 歳で来日されていたジョアンさんとも最後に話す事ができ、パワーを頂きました。皆さん本当に良い人達でした。

息子は N.B.との繋がりを強く出来たように感じ、私は英語力の衰えを感じ…(笑)、主人は息子の色んな面の成長を感じた 4 日間でした。

貴重な機会をくださった、岡崎市多様性社会推進課の皆さん、国際交流協会の皆さんに感謝しております。また機会があれば是非受け入れたいです。